

学校法人金沢工業大学白山麓キャンパス内における ブロックチェーン技術を活用した電力直接取引の実証研究の概要

1. 実証研究の概要および目的

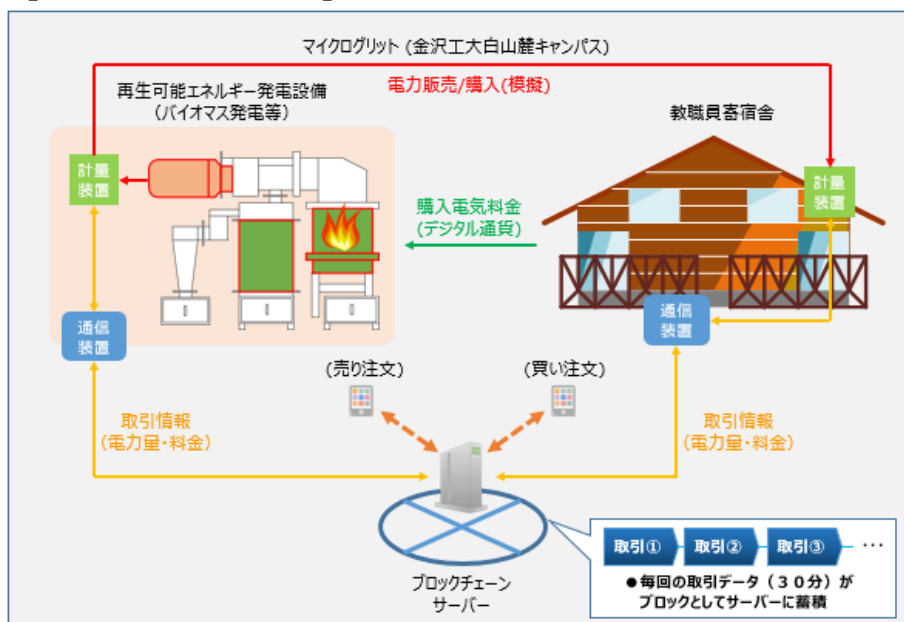
(概要)

キャンパス内に設置されている太陽光、風力、バイオマスなどの発電設備や蓄電池からの電力供給を「電力の売り手」、教職員の寄宿舍の電力消費を「電力の買い手」として、両者の発電量や電力消費量に基づき、電力の直接取引を行う。

(目的)

- 自然条件によって出力が大きく変動する太陽光発電や風力発電、自然条件によらず安定的な発電が可能なバイオマス発電という発電方式の異なる複数電源からの供給量と、実際に使用している住居の電力使用量を用いることで、より実践的な実証研究を行い、ブロックチェーン技術を用いた電力直接取引にかかる知見を得る。
- 異なる複数の実証場所を対象に、同一のプラットフォームを活用することで、多様な取引環境に共通して適用できるプラットフォームの構築を図る。

【実証研究の概要図】



2. 実施期間

2020年2月21日～2020年3月31日

3. 役割

関西電力：システムの構築および運営、実証研究の評価

金沢工大：実証環境の構築および実証環境の提供

<金沢工大および関西電力の概要>

◇学校法人金沢工業大学

代表者：理事長 泉屋 吉郎

設立：1965年4月

所在地：石川県野々市市扇が丘7-1

◇関西電力株式会社

代表者：取締役社長 岩根 茂樹

資本金：4,893億円

設立：1951年5月

所在地：大阪府大阪市北区中之島3-6-16

事業内容：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業 等

<本件に関するお問合せ先>

◇関西電力株式会社 広報室 報道グループ

T e l : 0 6 - 7 5 0 1 - 0 2 4 2

◇学校法人金沢工業大学 広報課

T e l : 0 7 6 - 2 4 6 - 4 7 8 4